



市長と おしゃべり しませんか？

今回は札幌の農業とさとらんど
についてお話ししてきました

テーマ

都市と農業をつなぐ

会場の隣で農産物の直売市が開催される中、
農業と市民をつなぐ方法や
都市における農業の在り方などについて、
熱い議論が交わされました。

■日時／9月15日(土)午前10時～11時45分
■会場／さとらんど交流館 ■参加総数／約40人

農家と市民の交流の 場が少ない

札幌市農業クラブ代表 **瀬戸 修一**さん

市内農業者のPRの機会や、農家と市民の交流の場が少ないので、販売の仕組みやイベントを考えてください。



市長から 札幌の農業について情報発信していく必要性を感じています。今、都心に北海道全体の情報発信拠点をつくる計画を立てていますが、他市町村だけではなく、市内の農家も農産物を即売できるような場所にしたいと思っています。

子育てサロンの場を広げたい

北海道子連れプロジェクト代表 **平島 美紀江**さん

森や畑や川、放課後の空き教室など、いろいろな場所で子育てサロンをしたいと考えていますので、市の空き施設を利用させていただけると嬉しいです。



市長から 子育てサロンを、公園や森の中、あるいは畑の中で行うという発想が非常に面白いですね。空き地や空き施設を有効に活用して、活動を応援していければと思います。

このページについてのお問い合わせは、市民の声を聞く課 ☎211-2042へ。
内容は、市長のホームページ
www.city.sapporo.jp/city/mayorからもご覧いただけます。

広域圏での情報交流の場を

市民体験農業を
考える会会長 **近藤 勝**さん

自分たちの活動を振り返り、より良いものにしていくために、札幌周辺の市町村で市民体験農業を行っている団体と交流する場をつくってください。



市長から

周辺地域との情報交換は刺激的で、活動に広がりをもたらしてくれるでしょう。他市町村との話し合いの機会に提案してみたいと思います。

農学校の修了生を生かして

さっぽろ農学校講師 **伊藤 喜三男**さん

さっぽろ農学校の修了生が約230人いますが、活動場所が少ない状況にあります。いろいろな農業体験活動に、修了生を活用してほしいです。



市長から

修了生が農業活動を継続しているとは限らないと聞き、もったいないなと思いました。町内会の花壇整備や農業に関係する活動に、人材を活用させていただきたいです。

実りの秋を体感! さとらんどで 収穫体験



さとらんどでは、5月～11月の間、さまざまな農作物の収穫を体験することができます。今の季節は大根の収穫体験を開催中。取れたての大根が1本50円と大変お得ですので、ぜひ一度お越しください。

日時11月中旬までの午前10時～午後3時。
会場交流館側の体験農園（当日直接お越しください）。

詳細 さとらんど（東区丘珠町584）☎787-0223